

## 「忠実に夢を」 ～どのように忠実に？～

ルカ 12 : 2~48

新年に私たちは今年の抱負や願いを立てますよね。皆さんはどのような願いや抱負を立てましたか？皆さんが新年に立てた願いが今年のテーマになります。そしてテーマを実現していけば自ずと結果が得られます。進む道が分かっているならば、何があっても不安になりません。しかし、分からなければ何をしても不安です。そして、頑張っているつもりでも忠実になっている部分がずれてしまっている可能性もあります。頑張っていることが的を外してしまっている、疲れてしまったり、喜ばなくなってしまうかもしれません。皆さんはそうなっていませんか？

自分がどのように忠実になっているのか。正しく「忠実」を理解できているか、以下のポイントを見てみましょう。何が忠実でなければならないのか？

### ① 隠れた姿

誰も見ていない一人の隠れた姿が大切です。一人のとき、私たちは正しい態度や感情で過ごしているでしょうか。誰も見ていないときに否定的な思いになったり、良くない感情に心が支配されていないでしょうか。夢を実現させるためには隠れた姿がいつも神様のみ前に喜んで元気であることが大切です。聖書には「喜びなさい」「忠実でありなさい」と一見、命令のように感じるかもしれませんが、聖書は私たちをナビゲーションしているだけです。ですから、一人の時に考え込んで落ち込んだり否定的になるのではなく、一人の時にこそ喜んで幸せいっぱいになれるようにしていきましょう。みなさんの心が平安で喜んでいられるために、日曜日に教会に来るのです。一人でモヤモヤ考えるのをやめて、それを教会に持ってきましょう。

### ② 小さい事を馬鹿にしない。

みんなが馬鹿にするようなこと、どうでもいいと思うこと、それが大切です。結果を受け取るためには、プロセスが大切です。私たちが新年に神様の前に願っていることはすぐに忘れてしまいます。しかし、私たちの人生において、多くの場合自分が決めた願いに関連した試練や問題が訪れます。そのような時に、志を持っていれば迷うことはありません。たとえ迷ったとしても、正しい道に戻ってこれることができます。小さい事を大切にしないと、みんなの前で取り繕うようになりますし、結果を得られたとしても、長続きしません。小さい事を大切にすることで現因と結果を神様の前にはっきりとすることもできます。その結果テーマを実現させることができます。

### ③ 本当の愛

次の3つの愛を見てみましょう。

1. I like you (～だから好き) こういう思いで行っていると、好きでなくなってしまうらできなくなります。このような思いで物事をすすめると、忠実であることに疲れます。 「

2. I have you (自分のもの) 自分のものだから、大切にすることも1番と同じ結果になってしまいます。

自分のものだと思っている時点で忠実ではないのです。

3. I love you (私はあなたを愛している。) これは聖書のアガペーの愛です。この愛は永遠に変わりません。マグダラのマリアは自分が愛されていることを受け取ることができたので、十字架までイエス様について行くことができたのです。好きだからとか自分のものだから、人を大切にするのであればその愛はやがて疲れてしまいます。これは忠実ではありません。私たちは命懸けて愛されています。その愛を受け取って、自分の人生を大事に思っている土台がないと、人に神様の愛を流すことはできません。自分が真剣に愛されている事がわかるから、私たちは忠実に歩めるのです。この十字架の愛を受け取らなければ、私たちは忠実に夢を描くことはできません。今日、もう一度神様に立ち返りましょう。そしてイエス様の命懸けの愛を受け取り新年をスタートさせましょう！

そうすれば、この一年忠実に夢を実現できる年となるでしょう！（要約者：牧 唯恵）